

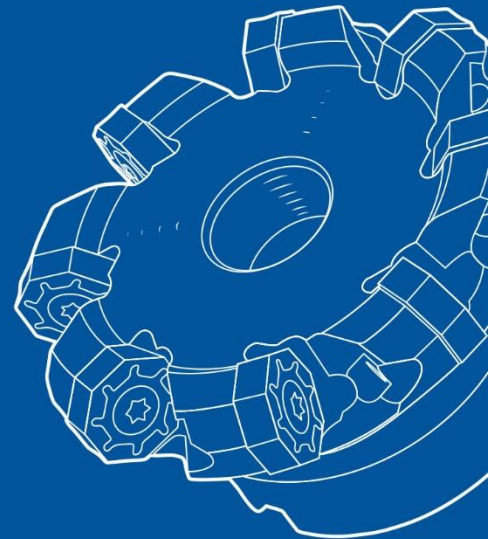


shaping your dreams

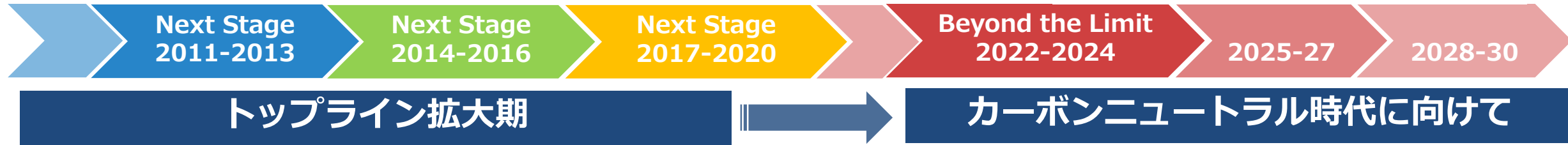
新中期経営計画

Beyond the Limit 2024

OSG Corporation

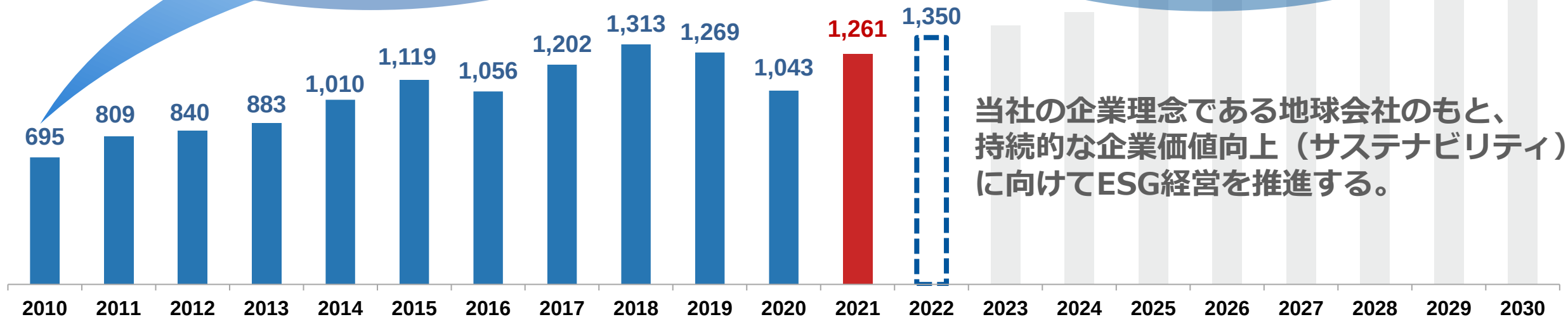


長期ビジョン



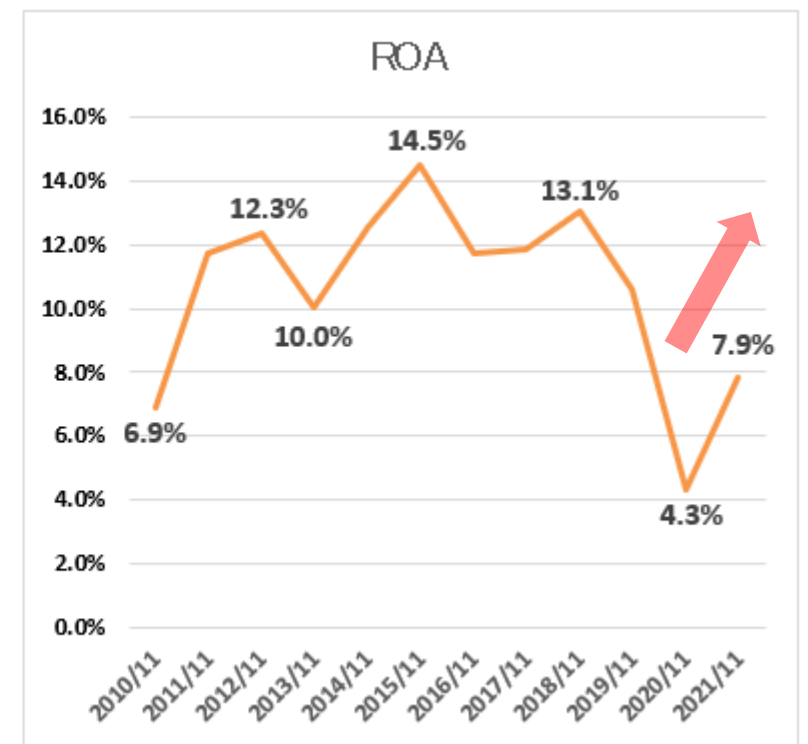
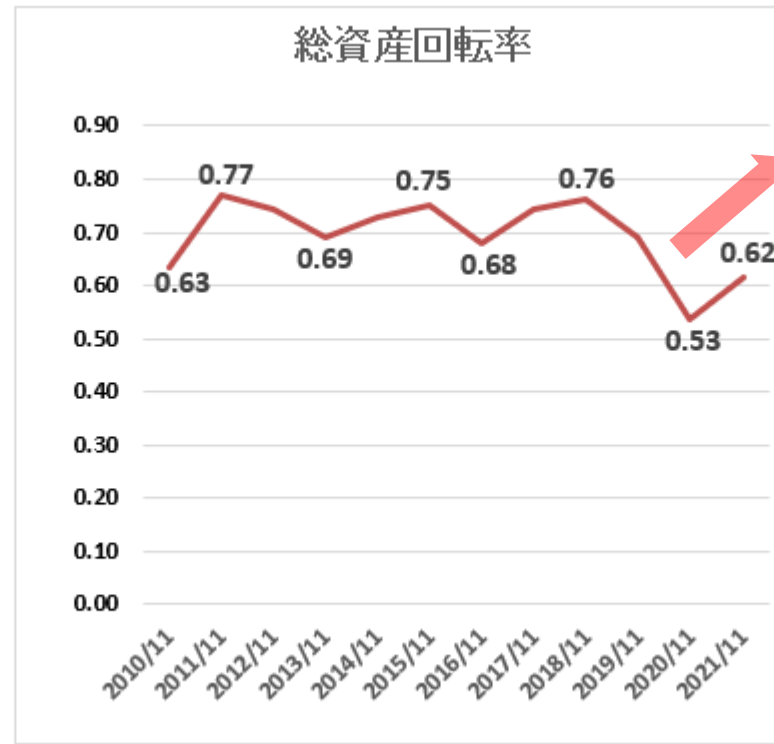
世界トップの
穴加工切削工具メーカー
となる

世界のモノづくり産業に
貢献するエッセンシャル・
プレーヤーへ



中期経営目標（2024年11月期）

- ・ ROA（営業利益ベース） 15%
- ・ 営業利益300億円



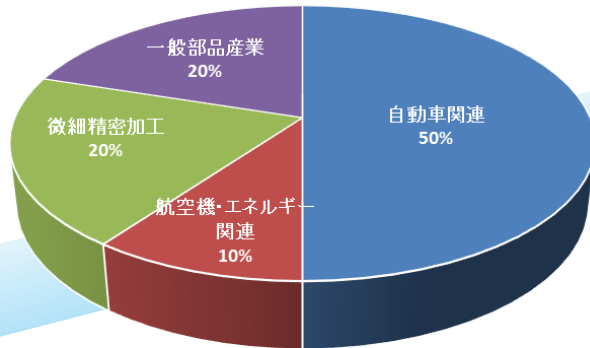
販売部門(グループ販売会社含む)は営業利益率の向上を、製造部門(グループ製造会社含む)は総資産回転率の向上を目指し、両者の掛け算で連結営業利益をベースとしたROA向上を目指す。

基本戦略

世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーへ変身する為の中期経営計画

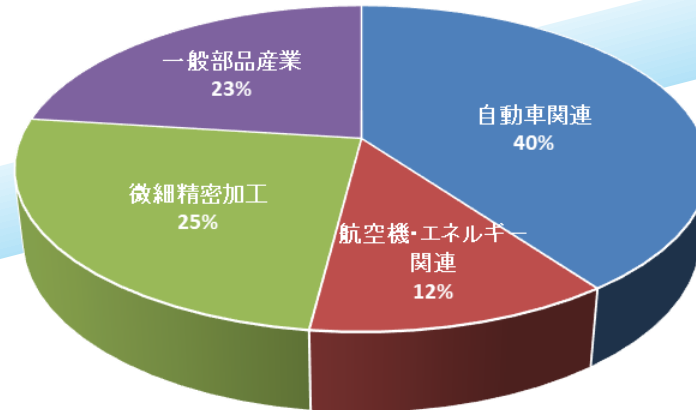
Beyond the Limit
2022-2024 (Stage1)

- 収益性/事業効率を改善し、
強固な企業体質を作る
- Aブランドの標準品比率30%
- コーティング・再研比率10%
- 微細精密加工向け売上拡大
エネルギー産業向け売上拡大
- Digitalを駆使した営業
及び生産体制の確立



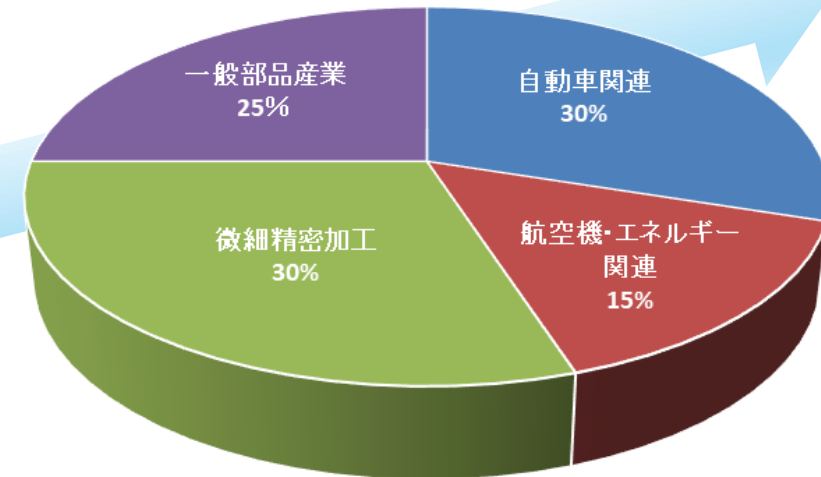
Beyond the Limit
2025-2027 (Stage2)

- トップ世界シェア40%を獲得
- Aブランドの標準品比率40%
- コーティング・再研比率15%
- Digitalなモノづくりの
グローバル展開/最適地生産
- 微細精密加工・エネルギー・
航空機産業売上拡大



Beyond the Limit
2028-2030 (Stage3)

- 顧客別ポートフォリオ構成は
微細精密加工を30%以上にする
- 顧客のカーボンニュートラル
に貢献する企業へ



基本戦略（目標値）

【Aブランド比率】

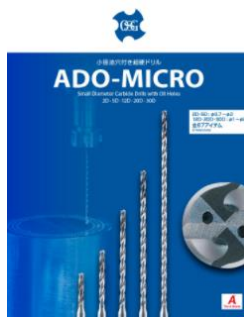
タップ、ドリル、エンドミルの売上に占めるAブランドの標準品売上比率として以下を目標設定する。

2021年11月期 実績	18%
2024年11月期 目標	30%
2027年11月期 目標	40%

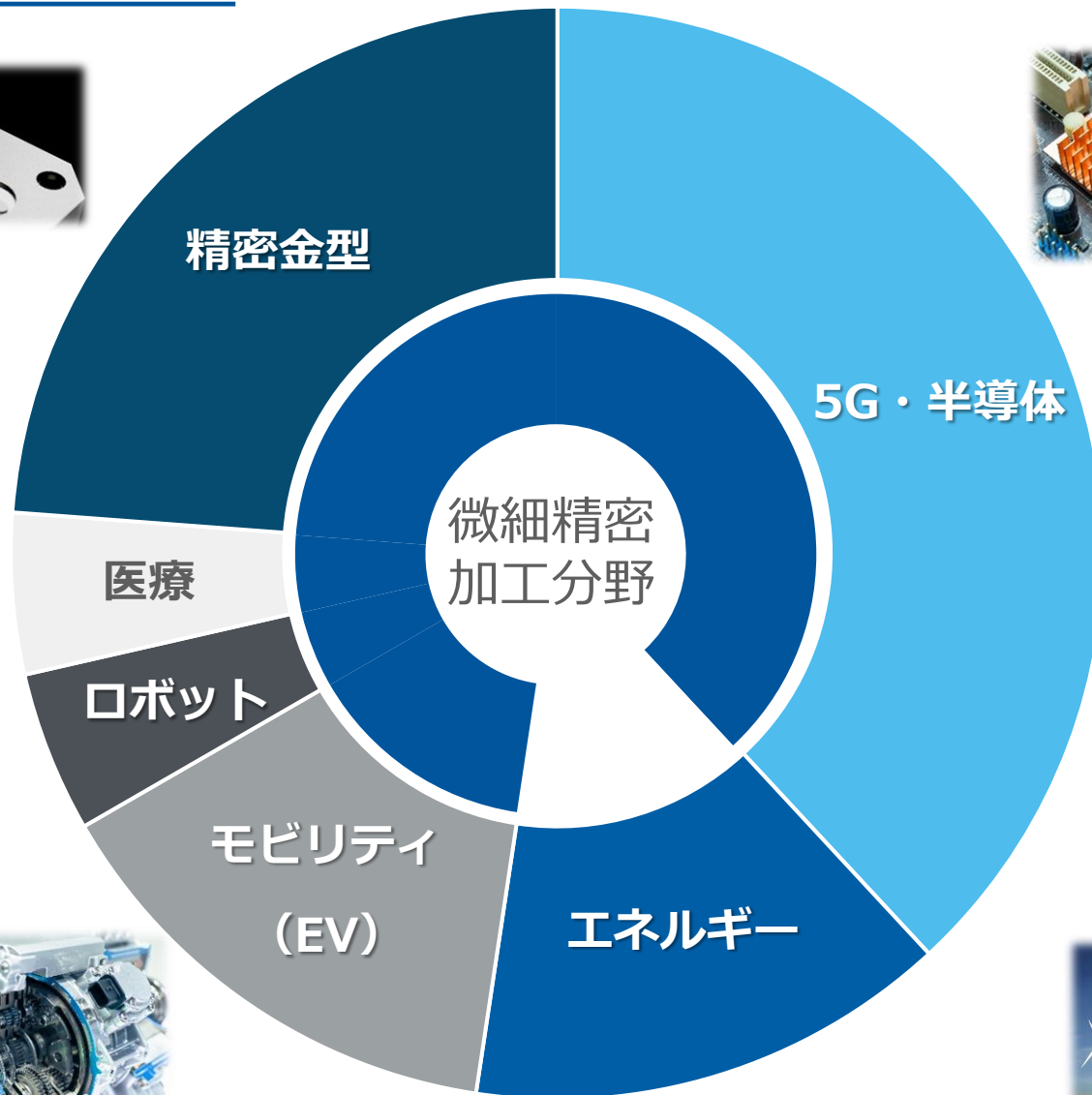


【微細精密加工向け売上】

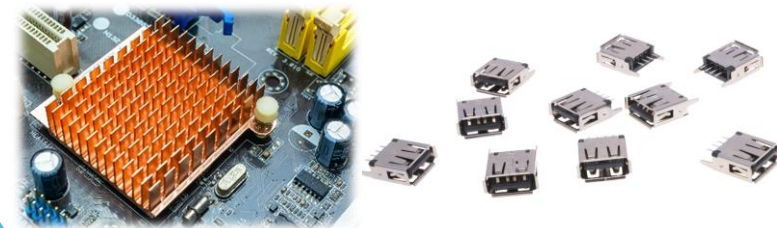
2021年11月期 実績	16%
2024年11月期 目標	20%
2027年11月期 目標	25%
2030年11月期 目標	30%



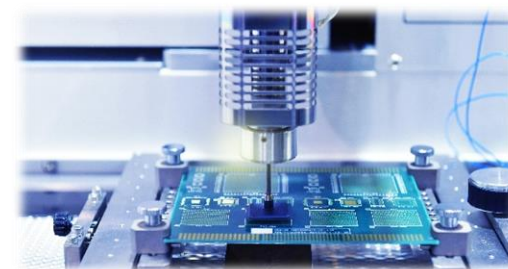
事業機会と成長分野



情報通信機器



半導体製造装置部品等



風力発電



※グラフは当社イメージです。

コーティング・再研磨ビジネス

オーエスジーグループとして工具の再研磨／再コーティングを通じてリサイクルに取り組み、循環型社会を目指したビジネスを展開しています。

オーエスジーデザインセンター (株)青山製作所

顧客の生産活動におけるサイクルタイム削減を通じて、環境負荷の軽減に繋がる工具を開発。摩耗した工具は再研磨を通して再利用。世界20ヶ国で展開。

オーエスジーコーティングサービス (株)

コーティングによる耐摩耗性の向上や加工能率アップのほか、摩耗した工具は再コーティングによって環境負荷を軽減。Primus Coatブランドでジョブコート事業を世界展開。

日本ハードメタル (株)

超合金の素材メーカーとして、高品質・高付加価値な超硬材料を供給。また、超硬工具のリサイクルを通して、廃棄物の削減を推進。

Coat-X Japan(株)

2021年8月にスイスのベンチャー企業 Coat-X社と立ち上げた合併会社Coat-X Japan(株)では、工具以外の医療や電子部品向けの耐水コーティング事業を2022年度上旬より展開予定。

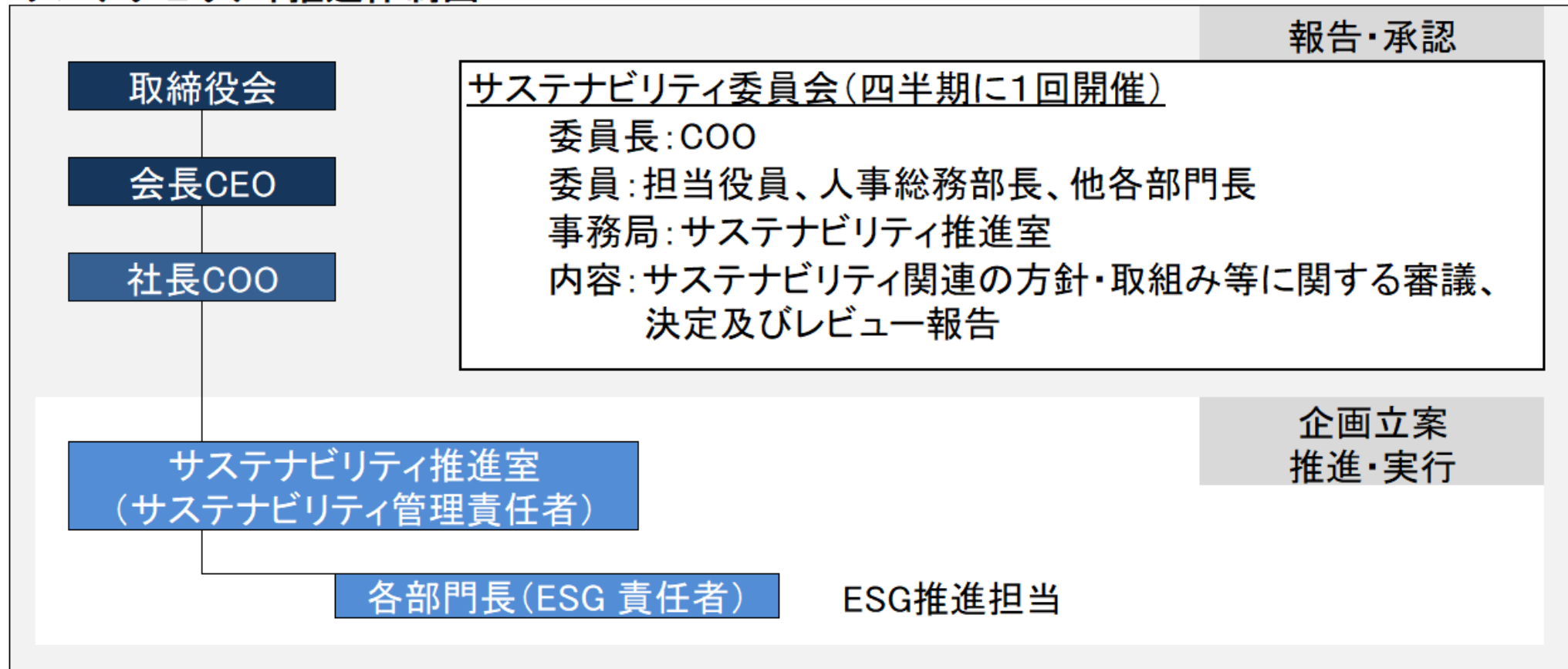


ESG経営の推進

サステナビリティ 基本方針

オーエスジーグループは、独自の高付加価値な製品とサービスを通じて、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして、社会の持続的な発展に寄与することを目指します。

サステナビリティ推進体制図



選定した重要課題(マテリアリティ)

気候変動への取り組み

TCFDへ賛同を表明し、気候変動による事業影響への適応に努めると共に、脱炭素社会へ寄与する事業活動の推進や、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。



働きがいのある職場環境の整備

社員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、多様性を活かして、能力を最大限発揮できる環境を整備します。



障がい者雇用への取り組み

特例子会社設立という将来像を描き、2021年6月に「特例子会社準備チーム」を設立しました。共に働く社員として、障がい者の適性や症状に配慮し、働ける環境を整備しています。



安全健康経営

「健康会社」として、従業員の安全・健康であることを重要な経営課題ととらえ、「従業員の健康増進」「快適で安全な職場環境づくり」を推進します。



地域社会の持続的発展① スポーツ振興への取り組み

東三河プロバスケットチーム「三遠ネオフェニックス」のトップスポンサーとして地元プロスポーツを応援しています。
また、無料観戦招待イベントを開催し、地域活性化にも一役買っています。



地域社会の持続的発展② 医療機関・施設への応援

新型コロナウイルス対応への応援として、医療従事者へ防護服やマスクの寄付や、近隣地域の職域接種の運営に協力しました。
障がい者支援施設へ什器等の備品を定期的に寄贈するなど、あたたかい地域づくりに貢献しています。



コーポレートガバナンスの充実

取締役会は独立性の高い社外取締役が過半数を占め、経営監督機能を十分に発揮できる体制となっていることに加え、多様性の観点から2月開催の株主総会で女性1名を社外取締役候補者としております。コーポレートガバナンスを充実させる仕組みとして、全グループで企業倫理遵守の行動指針を共有し、意識向上を図っています。



サステナブルファイナンス

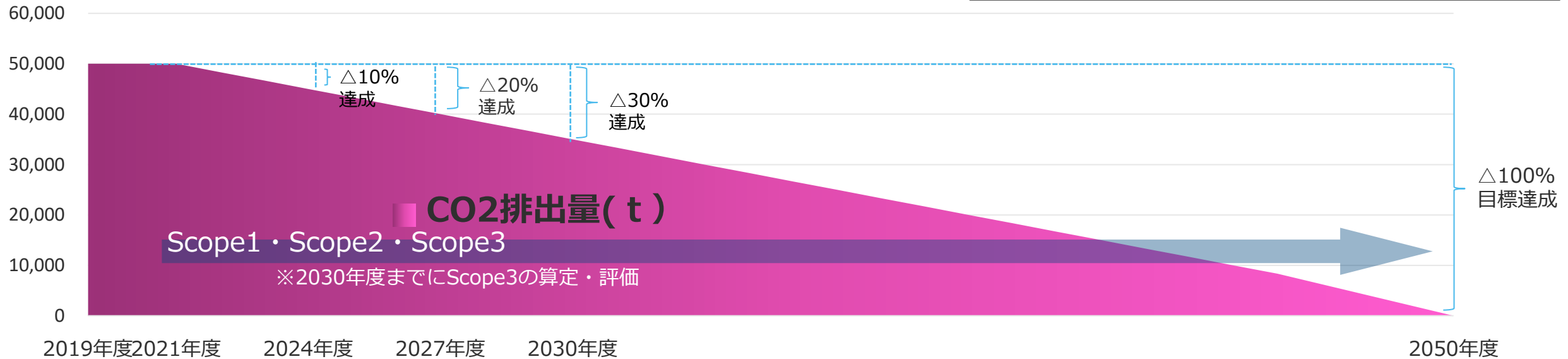
KPI達成状況をモニタリングし情報開示するために、「ESG評価型資金調達」を契約。また、投資に関わる資金調達の際には、「サステナビリティリンクローン」「グリーンボンド」等のサステナブルファイナンスの導入を検討し、ESG/SDGs経営の高度化に尽力します。



カーボンニュートラル宣言

2019年度CO2排出量	
scope1（社有車ガソリン使用量）	515 t
scope2（電力使用量）	49,768 t
Scope1,2計	50,283 t

目標達成に向けたCO2削減イメージ



STEP1 減らす（省エネ）

製造プロセスの省エネ化

- 自社工場での生産活動におけるエネルギー効率の向上のための高効率設備の導入や取り組み
- カーボンニュートラル達成のために、十分な省エネ水準を満たす高効率設備への投資
- 省エネルギーのための新プロセスの研究開発

STEP2 創る

クリーンエネルギーの利活用

- 太陽光発電設備等の導入
- 自社の事業活動にて利用する電力のクリーンエネルギーへの転換のための設備導入や取り組み

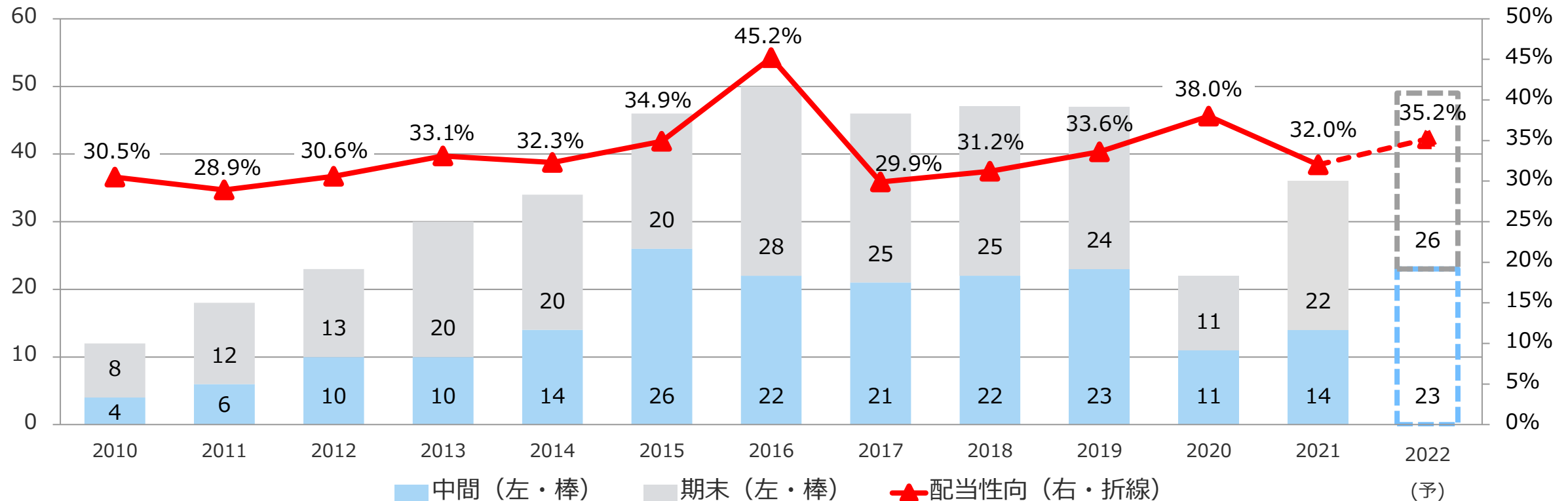
STEP3 活かす

CO2フリー電気

- 再生可能エネルギー由来電力の購入
- カーボンオフセットプラットフォームの検討

株主還元方針

配当性向は、現在の公約配当性向30%を、2022年度から35%に引き上げます。
今後は業績の推移を見ながら、40%の配当性向を目指します。
また、自己株取得は、資本の状況、業績動向、当社の株価水準、
成長投資機会、資本効率向上等を考慮し判断します。





shaping your dreams